

該当箇所	質疑・意見等	回答
資料１－１ P 2 0	流山市では、市民後見人制度は、ありますか。 市民後見人団体はどのような団体ですか。	主な活動団体としましては、千葉県東葛地域において「認定NPO法人東葛市民後見人の会」が成年後見制度の普及啓発や市民後見人の養成、成年後見の申立て支援を行っており、当団体は、流山市成年後見地域連携ネットワーク会議の構成団体でもあります。今年度、NPO法人東葛市民後見人の会及び流山市社会福祉協議会の共催で市民後見人養成講座を予定しています。 現在、流山市では直接的な市民後見人の養成は行っておりません。しかし、将来的な実施に向けて準備を進めて参ります。
	流山市では後見人の報酬助成制度があるようですが、報酬はいくらですか。	成年後見人が、通常の後見事務を行った場合の報酬の目安となる額は月額２万円です。ただし、後見人が行った後見等の事務の内容、後見人等が管理する被後見人等の財産の内容等を裁判官が総合的に考慮して定めるため、管理財産額が高額な場合等は報酬が増額されます。流山市では、成年後見人等への報酬を支払うことが困難で一定の要件に当てはまる方に、報酬費用の一部又は全部を助成しています。
	成年後見制度を、介護保険のように保険制度に移行することはできませんか。 経済的にこの制度を利用できない人が出るのではないかと心配です。	成年後見制度は民法等に基づく制度であり、保険制度に移行するには大幅な法改正が必要となるため、現時点では難しいと考えられます。 また、報酬の支払いが困難な方に対しては、前述のとおり、流山市では報酬助成を実施しておりますので、引き続き周知等を行っていきます。
資料１－１ P 1 1 問 5 8	成年後見制度の利用希望について、「利用したいと思わない」が12.9%「わからない」が51.6%と、約64.5%の方達が、積極的な利用は考えていない結果です。 これは、例えば、４ページの令和５年度一人暮らしの高齢者世帯数11,873、次ページの法定後見の利用者数239人からすると利用者数が非常に少ないことから伺えます。 従いまして、11ページの問58の利用希望をしない理由が述べられていませんが、この理由を明確にして対策をとることが大事ではないでしょうか。	７ページから８ページにかけて、高齢者等実態調査において成年後見制度を「利用したいとは思わない」又は「わからない」と回答した方に対してその理由を調査した結果を掲載しています。「自分以外の人が財産管理することに抵抗がある」と回答した方が２７．５%、「制度の内容や利用方法がよくわからない」と回答した方が２１．７%となっており、後者については成年後見制度を利用する意義や相談窓口を含め、周知を図ることが必要と考えております。今回の障害者福祉計画アンケート調査では同内容の調査を実施しておりませんが、成年後見推進センターによる市民向け講演会や障害者団体等を始めとした各種団体への出前講座の開催を通して、制度の普及啓発に取り組み、次期計画の策定時には障害者を含め調査を実施した上で、評価と取組の改善に努めていきたいと考えております。